



PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会

九州・沖縄予選 ワールドCC(結果) 予選大会結果のお知らせ

<PGM世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会 九州・沖縄予選>

◇2月24日 ◇熊本・ワールドCC (15-18歳男子6995ヤード、パー72ほかカテゴリー別)

◇出場122人

<九州・沖縄予選 概況>

15-18歳の部は、同じ高校の同級生が男女で1位になった。男子は坂本優心(福岡・常磐高2年)が6バーディー、2ボギーの4アンダー68の快スコアで回った。女子は辛島寧那(福岡・常磐高2年)がピンチをしのぎながら2オーバー74で回り、ともに1位で西日本決勝大会(3月31日~4月1日、兵庫・大宝塚GC)に進んだ。この大会から、昨年の世界ジュニア本選のカテゴリー変更に合わせて15-18歳の部となり、高校3年生全員と一部新大学1年生の参加も可能になった。男子では4月から大学1年になる杉原大河(徳島・生光学園高3年)が1アンダー71で2位に入り、西日本決勝大会に進出した。13-14歳の部では男子は仲宗根祥仁(沖縄・久志中1年)が78で1位通過。同女子はこのカテゴリーでは一番下の学年となる小学6年の荒木優奈(熊本・築山小6年)が75、菅楓華(宮崎・那珂小6年)が76で1、2位となり、西日本決勝大会に進んだ。

西日本決勝大会でIMG A世界ジュニアゴルフ選手権(7月、米国サンディエゴ)の西日本エリアの日本代表が決まる。

<九州・沖縄予選 予選結果>

西日本決勝大会進出者は以下の通り。*敬称略

▽15-18歳男子

- 【1位】坂本優心(福岡・常磐高2年) = 68
- 【2位】杉原大河(徳島・生光学園高3年) = 71
- 【3位】与那嶺龍仁(沖縄・宜野座高2年) = 74
- 【4位】原悠太郎(長崎・長崎日大高2年) = 75
- 【5位】田中元基(福岡・沖学園中3年) = 75
- 【6位】韓嘉希(福岡・菊陵中3年) = 76

▽同女子

- 【1位】辛島寧那(福岡・常磐高2年) = 74
- 【2位】高原花奈(宮崎・高岡中3年) = 75
- 【3位】白川ほのか(福岡・福岡中3年) = 77
- 【4位】江川琴実(宮崎・住吉中3年) = 78
- 【5位】岩崎星乃(福岡・志免中3年) = 78
- 【6位】富永幸来(熊本・国府高1年) = 78
- 【7位】寺川優(福岡・常磐高1年) = 78

▽13-14歳男子

- 【1位】仲宗根祥仁(沖縄・久志中1年) = 78
- 【2位】小窪都斗(鹿児島・鹿児島大付中1年) = 79
- 【3位】横山翔伍(宮崎・姫城中1年) = 79
- 【4位】世良博(福岡・永犬丸中1年) = 80

【5位】濱山文飛（福岡・城南中1年）＝83

▽同女子

【1位】荒木優奈（熊本・築山小6年）＝75

【2位】菅楓華（宮崎・那珂小6年）＝76

【3位】松永七海（佐賀・千代田中2年）＝76

【4位】西川果穂（福岡・城南中2年）＝77

【5位】亀川美羽（長崎・長崎大教育学部付中2年）＝77

【6位】竹原美悠（熊本・白川中2年）＝77

▽11-12歳男子

【1位】米誠ノ心（鹿児島・池田小6年）＝76

【2位】石橋拓門（福岡・八幡小6年）＝78

【3位】有菌純（鹿児島・日当山小6年）＝81

【4位】丸尾怜央（宮崎・宮崎南小5年）＝82

【5位】中山涼希（宮崎・宮崎小6年）＝82

▽同女子

【1位】三明桜子（福岡・玄洋小6年）＝72

【2位】前里奈々（沖縄・大里南小5年）＝76

【3位】荒木七海（熊本・築山小4年）＝78

【4位】丸尾鈴水（宮崎・宮崎南小6年）＝78

【5位】岩本菜乃（福岡・守恒小6年）＝79

▽9-10歳男子

【1位】外岩戸晟士（鹿児島・志布志小4年）＝74

【2位】長崎煌心（宮崎・三俣西小4年）＝78

【3位】吉永匡一郎（福岡・江川小4年）＝84

▽同女子

【1位】豊田ヒカル（熊本・築山小4年）＝72

【2位】玉城豪華（沖縄・喜納小4年）＝76

【3位】丸尾海七（宮崎・宮崎南小3年）＝82

【4位】吉崎マーナ（沖縄・沖縄カトリック小4年）＝83

▽7-8歳男子

【1位】加藤金次郎（愛知・長根小1年）＝74

（注）同スコアの順位は18番からのカウントバックによる

◇15-18歳の部男子◇2月24日◇熊本・ワールドCC（6995ヤード、パー72）

坂本優心（福岡・常磐高2年）が2年連続で西日本決勝大会（3月31日～4月1日、兵庫・大宝塚GC）へ向け、首位で予選を突破した。「去年3アンダーだったので、前半35で回ったところで昨年と同じ3アンダーは行くかなと思った」という。最終18番にその3アンダーで来た。8メートルのバーディーパットに「入れたい気持ちが先走って強くなってしまった」というが、うまくスライスしてこの日6つ目のバーディー。4アンダー68の好スコアに笑顔を見せた。昨年の西日本決勝大会では最終日に85をたたいて15位に沈んだ。「左肩が開く癖がだいぶ直ってスイングイメージができてきた。今日も1発目のティーショットでいい球が出たのでよかった」と振り返った。「ショットを安定させておきさえすれば、そう大たたきしないと思う。パットが入れば今日以上のスコアも出せると思う」と、昨年よりは自信がついている。「世界に行ってレベルを知りたい」と、代表入りに意欲を見せた。

◇15-18歳の部女子◇2月24日◇熊本・ワールドC C（6254ヤード、パー72）

辛島寧那(福岡・常磐高2年)が、同級生の男子坂本に負けじと2年連続1位のメダリストになり、西日本決勝大会（3月31日～4月1日、兵庫・大宝塚GC）に進出した。この日はインスタートの10番でボギーとし、続く11番パー5で第2打を左にOBにしてダブルボギーと最悪の出だしに「ちょっと焦りました」という。それでもパーを重ね、終盤16番で1.5メートルにつけて初バーディー。「最後までショットは直らないままできつかったけど、なんとかしのげたのでよかった」と振り返った。昨年はトップ通過して進んだ西日本決勝大会に、他の大会と重なってしまったため出場できず、世界ジュニアのチャンスを逃した。「今年は絶対に行きます。世界レベルで自分がどのぐらいの位置にいるかを知りたい」と、代表を目指す。あと1カ月ほど準備期間があり「今日うまくいかなかったセカンドショットの方向性を修正したい。ガンガン、バーディーを狙って行けるようにしたい」と、2度目の世界のチャンスをものにしたい。

◇15-18歳の部男子◇2月24日◇熊本・ワールドC C（6995ヤード、パー72）

杉原大河（徳島・生光学園高3年）が1アンダー71の2位で西日本決勝大会3月31日～4月1日、兵庫・大宝塚GC）に進んだ。昨年からIMG A世界ジュニアのカテゴリーが変更となり、15-17歳の部から15-18歳と1つ年齢枠が広がった。今年から日本代表選抜大会も同じカテゴリーとし、世界ジュニア最終日に18歳であれば新大学1年生の参加も可能になった。2014年に13-14の部を制した杉原は「世界ジュニアは自分にとって大きな大会」と、15-17歳の部での優勝を目指したが、昨年は西日本、東日本決勝大会両方に出場し、ともに3位（2位までが代表）と涙をのんだ。年齢カテゴリーが広がったため「代表を逃した時点から今年の世界ジュニアを目標に練習してきた」という。昨年はレギュラーツアー3試合にも出場し、関西オープンでは2日目8位と優勝争いをする（最終21位）などレベルアップしたのも、世界ジュニアという目標があるから「頑張れた」という。この日は「いいショットと悪いショットの差がはっきりあった」と振り返ったが、日本代表選抜大会に初めて新大学1年生として出場、4月からは東北福祉大へ進学する。大学生での「世界ジュニア制覇」の夢にまず1歩進んだ。



写真

左 = 15-18歳男子 坂本優心
中 = 15-18歳女子 辛島寧那
右 = 15-18歳男子 杉原大河